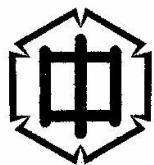


## 平成22年度「教員公募」実施のお知らせ



### 京都市立洛西中学校



## 1. 本校の概要です

本校は、昭和51年より開発された洛西ニュータウンのほぼ中央に位置し、昭和54年に開校した31年の節目を迎えた学校です。

洛西ニュータウンも、早や30数年の年輪を刻み、人口の急増期を終え、近年、人口の流動はあまり見られない。むしろ全国的な少子高齢化の流れを受け、若年層、とりわけ小中学生の児童・生徒数は激減しています。

本校においても、昭和63年の生徒数1,504名を上限に年々減少し続け、今年度の生徒数は373名(12の普通学級と1つの育成学級)と、いわゆる中規模の学校となっています。

## 2. 学校教育目標などを紹介します

### (1) 学校教育目標

「よりよい社会の実現に貢献しようとする人間性の育成」

### (2) 学校経営方針

電光石火、素早い対応。課題を先延ばししない。  
Face to face, Heart to heart,  
直接顔を合わせて、心を込めて接する。  
違いを認めあって、相手の良さに気づくよう心がける。

### (3) めざす生徒像

真理・真実を素直に探究する心を育む  
( 素直に勉強に取り組む生徒 )  
自らの可能性を追求する粘り強い自己実現の姿勢を養う  
( どんなことにも一生懸命がんばる、ねばり強い生徒 )  
社会の矛盾や課題に気づき、解決のために行動できる社会的な眼を培う  
( 社会の矛盾や課題に気づき、解決のために行動できる生徒 )

## 3. 今年度の研究指定推進事業

平成21年度の研究指定等の事業は以下の通りです。

- 1, 文部科学省指定  
「学校支援地域本部事業」(平成20・21・22年度)
- 2, 国立教育政策研究所指定  
「小中連携教育実践研究事業」(平成20・21年度)
- 3, 京都市教育委員会指定  
「みやこレインボー・スクール事業」(平成21年度)  
「小中一貫教育推進校」(平成20年度から)

## 4. 18年度より学力向上アクションプラン～洛西方式～を実践しています

本校では「学力水準の向上と学力格差の解消を実現するための、6つの柱」を掲げ、「学習意欲の向上」と「学習習慣の定着」を目指し、「確かな学力育成」の実践研究をすすめています。

### ～ 学力水準の向上と学力格差の解消を実現する6つの柱 ～

- 1, 授業時数確保の取組  
(量的な学力向上プラン)
- 2, 「わかる授業」をつくる, 授業改善の取組  
(質的な学力向上プラン)
- 3, 家庭学習習慣化のための宿題の取組  
(家庭との連携による学力向上プラン)
- 4, 異校種連携による取組  
(小学校・高校との連携による学力向上プラン)
- 5, 地域との連携による取組(夜の自主学习など)
- 6, 土曜スクールの取組  
(地域との連携による学力向上プラン)

#### (1) 授業時数確保の取組(量的な学力向上プラン)

##### 1) ねらい

マスタリー・ラーニング理論に即して, 補充的な学習, 発展的な学習で, 個に応じた指導を行うための必要な時間を確保する。

指導要領の一部改正等を踏まえ, 必要な指導時間を確保するため, 教育課程の抜本的な見直しを図る。

##### 2) 具体的方策

年間総授業時数 1, 100 時間超の取組

週時数 32 コマ, 7 校時目授業の設定(毎月・水曜), 45 分授業  
朝学習時間の確保(毎日 10 分)

8 時 25 分登校, 8 時 30 分～40 分朝学習, 8 時 45 分まで朝学活  
選択教科の抜本的見直し

生徒の個人選択をなくし、学校選択を導入する。ただし、教科内において、補充的な学習・発展的な学習を生徒に選択させる、いわゆる教科内個人選択を採用する。

## (2) 「わかる授業」をつくる、授業改善の取組(質的な学力向上プラン)

### 1) ねらい

「基礎基本の定着」と「意欲・関心の喚起」の両全を獲得する授業展開を目指す。マスタリー・ラーニング理論に即して、単元終了後に形成的テストを実施する。そして十分理解が得られてない生徒には補充的な学習を、理解の進んでいる生徒には発展的な学習で、個に応じた指導を徹底する。

### 2) 具体の考え方

「教えて考えさせる授業」を基調にする。  
学習内容と日常生活との関連性重視の授業を展開する。  
放課後や長期休業中を利用して、補充学習や発展学習に取り組む。

## (3) 家庭学習習慣化のための宿題の取組(家庭との連携による向上プラン)

### 1) ねらい

「確かな学力」を育成するためには、学校での授業改善に加えて、自主的・自発的に学習するよりよい学習習慣を身に付けさせるために、内発的な動機づけを促すような宿題の出し方を考える必要がある。

### 2) 具体の方策

家庭での基本的な生活習慣の確立

家庭での生活習慣を見直し、就寝・起床時間、朝食の摂取、学習時間の確保、テレビ・パソコン等の時間制限など、家庭への啓発活動をすすめる。

生徒の習熟の程度に応じて、次のような内容の宿題を出す必要がある。

学習内容の理解を深めたり、技能の定着を図ったりするための宿題  
(ドリル的な宿題)

学習内容をもとに、さらに教科の見方や考え方を広げたり深めたりするための宿題  
(思考力を高める宿題)

## (4) 異校種連携による取組(小中連携・中高連携による学力向上プラン)

### 1) 小中連携

小中連携により義務教育9カ年における学力低下問題の克服

( 数学など積み上げが必要な教科で、小学校段階でつまづいている中学生も結構多い。学力向上のためには「どこでつまづいたのか」を調査し、その克服に向けて小中連携を図る。 ) 小学校への出前授業を行う。

昨今よく論じられている中1プロブレムの解消をめざし、小中連携を図る。

中学校の部活動生徒と小学校5・6生が部活動交流を行う。

## 2) 中高連携

中高連携を図ることによって、上級学校への興味・関心を高め、学習と進路選択に意欲を持たせる。そして進路展望を拓かせる。

高校の先生（洛西・桂・堀川・西京・塔南の5公立高校，成章・明德・西山・両洋・光華・龍谷大付属平安の6私立高校）による本校3年生対象の出前授業。

京都成章高校・府立洛西高校への訪問授業。

（3年生全員が訪問し，高校の先生の授業を受ける）

## (5)(6)地域との連携の取組&土曜スクールの取組(地域との連携による学力向上プラン)

希望する中学生（小学生や地域の人たちを含む）を対象に，市民公開講座のような方式をとり，英語検定試験用の学習に取り組み，英語の学力向上に資する。

土曜日に学校施設を開放することにより，地域に開かれた学校づくりに資する。また，地域の人たちへの生涯学習の場を提供する。

夜の自主学習会・親子で学ぶ道徳授業・ふれあい討論会など，地域の方々と一緒に，あるいは，地域の方に先生になっていただき，学習活動を進めています。

## 5. 本校は、こんな先生を待っています

(1) 教科指導はじめ，さまざまな教育課題に向学心旺盛な教員

(2) 今日的な教育改革に，積極的に取り組もうとしている教員

(3) 生徒及び保護者の要望に応えられる，部活動に熱心な教員



# 応募要項

## 応募の対象

- (1) 京都市立中学校に勤務する教諭(教育委員会事務局に勤務する者を含む)で、平成21年度末において本市採用後3年以上経過している者
- (2) 平成21年度末において現任校での勤務歴が3年以上になる者
- (3) 本応募について現任校校長又は所属長の理解を得ている者

## 募集教科及び人数

最大2名(おおむね6教科=社,数,理,保体,技家,英)を募集します。

## 応募の手続き

- (1) 別紙「志願書(様式1)」に所定の事項を記入して頂き、別紙「自己アピール書(様式2)」と併せて、提出してください。  
志願書・自己アピール書(PDF file)  
志願書は必ず自筆で作成してください。  
自己アピール書は自筆以外でも結構です。
- (2) 応募期間 平成21年11月17日(火)~12月10日(木)
- (3) 提出先及び問い合わせ 京都市立洛西中学校長

## 選考及び結果通知

- (1) 提出書類にて書類選考  
提出書類にて第1次選考を行います。  
第1次選考の結果は、平成22年1月14日(木)までに現任校の校長を通じてお知らせします。
- (2) 個人面接  
第1次選考により選抜された者について、順次実施します。  
平成22年1月中旬に現任校の校長を通じて結果を通知します。

## 問い合わせ先

京都市立洛西中学校 校長 口中 治久  
住所： 610-1141 京都市西京区大原野西境谷町2丁目8番地  
TEL： 331-6131 FAX；331-6159  
ホームページ：[www.edu.city.kyoto.jp/rakusai-c](http://www.edu.city.kyoto.jp/rakusai-c)  
E-mail：[rakusai-c@edu.city.kyoto.jp](mailto:rakusai-c@edu.city.kyoto.jp)

